

- 系 統 2液型可とう性エポキシ樹脂系モルタル
- 特 長 1) 可とう性に優れる。
2) コンクリートや鋼板に対する接着性、追従性、耐久性に優れる。
- 用 途 1) 薄層舗装材

配合比

| | 結合材 | 顔料 | 骨材 | | | 合計 |
|------------------------------|---------|--------|--------------|--------------|--------------|---------|
| | レジンファルト | | 接着剤用 フィラー | 接着剤用 硅砂4号 | 接着剤用 硅砂7号 | |
| 配合比 | 10kg | 1袋 | 10kg | 37.5kg | 50kg | 107.5kg |
| 1m ³ 当りの 標準使用量 | 195.3kg | 19.35袋 | 195.3kg | 732.7kg | 976.7kg | 2100kg |

※顔料は、色によって配合比が異なる。

荷 姿

- レジンファルト…10kgセット（主剤+硬化剤）
- 接着剤用フィラー…10kg/袋
- 接着剤用硅砂4号…25kg/袋
- 接着剤用硅砂7号…25kg/袋
- 顔料（標準色：グリーン、ライトグリーン、グレー、ブラウン、ブラック）…0.1~1.5kg/袋
※標準色以外の色については、別途相談

可使時間の目安
および養生時間

| 温 度 [°C] | 5 | 10 | 20 | 30 |
|-----------|-----|-----|---------|--------|
| 可使時間 [分] | 400 | 150 | 70 | 30 |
| 養生時間 [時間] | 48* | 36* | 18(10*) | 10(8*) |

*低温時にレジンファルト（バインダー）のみ40°Cに加熱して施工した場合

比 重

- 2.10±0.10（硬化物）

使用 方法

- レジンファルトをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
- 主剤と硬化剤を均一になるまで混合攪拌する。
- 着色は、樹脂に所定量の顔料を添加し、さらに均一になるまで混合攪拌する。
- 骨材を所定の配合で、モルタルミキサー等で混合攪拌する。
- 混合した骨材に、攪拌しながらレジンファルトを加え、均一になるまで攪拌する。
- モルタル敷設面にレジンファルトプライマーを塗布する。
- プライマーの硬化前に、モルタルをコテなどで転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

使用上の注意

- 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去）
- 鋼板面の場合は防錆対策に留意する。
- 低温時には、レジンファルトや骨材をジェットヒーター等により加熱すれば、混合が容易になり、良好な作業性が得られる。
- 施工後、降雨や濃霧等の恐れがある場合には、シート等を被せて養生を行う。

| |
|-------|
| ⚠ 注 意 |
|-------|

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド レジンファルトの安全データシート（SDS）を参照してください。